

坑夫山本作兵衛の 生きた時代

～戦前・戦時の炭坑をめぐる視覚表現



「立掘り 先山 後山」山本作兵衛、1970年

2013.7.13(土) - 9.8(日)

原爆の図 丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子 1401 ☎ 0493-22-3266

共催：作兵衛（作たん）事務所、ボレボレタイムス社

後援：夕張地域史研究資料調査室、みろく沢炭鉱資料館、常磐炭田史研究会、コールマイン研究室

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、7月30日～8月18日は無休

2011年5月、田川市石炭・歴史博物館、福岡県立大学が保管する、故・山本作兵衛の炭坑絵画589点と日記・メモ類108点が、国連教育科学文化機関（ユネスコ）により「メモリー・オブ・ザ・ワールド」（MOW、通称・世界記憶遺産）に登録されました。それを契機として、現在、炭坑（鉱）への関心が寄せられつつあります。

作兵衛は、炭坑を見聞きするがなくなる孫たちのため、「炭坑はどういうものであつたか」を絵画として描き残しました。彼が自宅を訪れた人々に炭坑画を持ち帰らせたのは、世代を越えて炭坑への関心が広がるのを期待していたからではないでしょうか。

世界記憶遺産登録を機に、作兵衛の炭坑画の再評価が進められるのは喜ばしいことです。その一方、他の画家や写真家たちの炭坑を巡る表現を総合的に見渡し、それぞれの時代、それぞれの産炭地の炭坑イメージや表現に込められた意味を読みなおすことも重要です。本展では、作兵衛が近い人たちに遺した「炭坑画」をはじめ、同じ筑豊を描いた原田大鳳、井上為次郎、島津輝雄、山近剛太郎、常磐を描いた大宮昇らの絵画作品や、萩原義弘撮影による、戦時の軍需生産美術推進隊が全国に制作した坑夫像、大正期に町田定明が撮影した『三井三池各事業所写真帖』ほか各産炭地の主要石炭会社の写真帖など、戦前・戦時に生み出された各地の炭坑をめぐる幅広い視覚表現を検証します。

それらの表現からは、炭坑労働の実情や問題点の啓蒙、国家的要請での石炭増産体制の訴え、炭坑生活へのいとおしみなど、さまざまな思いが読み取れるはずです。

戦後、相次ぐ閉山によって石炭産業の火が消え、産炭地を除けば、これらの視覚表現はほぼ顧みられることはありませんでした。今こそ、作兵衛の「孫たちへの願い」を思い起こし、多くの炭坑の表現者たちが、炭坑をどのように受け止め、世に伝えようとしてきたのか、遺された作品群に目を凝らし、耳を澄まし、頭を巡らす時ではないでしょうか。

「坑夫・山本作兵衛の生きた時代～戦前・戦時の炭坑をめぐる視覚表現」展実行委員会

相談役：山本照雄、本橋成一、小寺隆幸

実行委員：井上忠俊、諸方恵美、上野朱、中込潤、青木隆夫、渡辺為雄、野木和夫、菊地拓児、萩原義弘、正木基、岡村幸宣

●オープニングコンサート＋トークイベント「炭坑の視覚表現をめぐって」

7月13日(土)午後2時

コンサート出演：緒方もも（バイオリニスト、山本作兵衛曾孫）、奥野幸恵（ピアノ）、

清水英里子（ヴァイオリン）

トークイベント出演：鳥羽耕史（早稲田大学教授）+保坂健二朗（東京国立近代美術館主任研究員）+

正木基（casa de cuba 主宰）

●ギャラリーツアー

7月15日(月)、17日(水)～19日(金)、23日(火)～26日(金)

午前10時～午後4時まで随時

ツアーガイド：本展企画委員

●ギャラリートーク1「炭坑を語る」

7月27日(土)午後2時

出演：菊地拓児（コールマイン研究室）+萩原義弘（写真家）+ヤリタミサコ（詩人）

●ギャラリートーク2「山本作兵衛を語る」

8月13日(火)午後2時

出演：井上忠俊（作兵衛（作たん）事務所所長）+上野朱（古書店主）+

諸方恵美（作兵衛（作たん）事務所代表代理）+本橋成一（写真家・映画監督）

=いずれも参加自由（当日の入館券が必要です）

7月13日、27日、8月13日は、午後1時に東武東上線 森林公園駅南口に美術館の送迎車が出ます。

同時開催：丸木夫妻「足尾鉱毒の図」特別展示

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

[常設展] 「原爆の図」連作

「水俣の図」

「南京大虐殺の図」

「アウシュビッツの図」

「水俣・原発・三里塚」

絵本原画、丸木スマ水彩画等

[開館時間]

午前9時～午後5時

[休館日]

月曜日（祝日の場合は翌平日）

[入館料]

7月30日～8月18日は無休

大人900円 中高生または18歳未満600円

小学生400円 団体（20名以上）、60歳以上、

チラシ持参者、比企地区在住者100円割引

障碍（しょうがい）のある方は半額

355-0076埼玉県東松山市下唐子1401
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[U R L]

<http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

[Eメール]

marukimsn@aya.or.jp

[交 通]

●東武東上線森林公園駅

南口よりタクシー10分、徒歩50分

北口よりレンタサイクル20分

●東武東上線東松山駅・高坂駅より

市内循環バス唐子コース（日祝運休）

「淨空院入口」「丸木美術館北」下車

●関越自動車道

東松山インターチェンジより小川方面10分

●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩30分、

詳細は丸木美術館にお問い合わせください

【市内循環バス唐子コース時刻表】

○丸木美術館行き

11:12 東松山駅東口 →11:29 淨空院入口

12:07 高坂駅西口 →12:25 丸木美術館北

13:12 東松山駅東口 →13:29 淨空院入口

15:22 高坂駅西口 →15:40 丸木美術館北

16:25 東松山駅東口 →16:42 淨空院入口

※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。

このチラシをご持参の方は丸木美術館入館料が100円割引になります。

坑夫・山本作兵衛の生きた時代

～戦前・戦時の炭坑をめぐる視覚表現

2013.7.13(土)～9.8(日)



井上為次郎「炭坑風俗」より



町田定明「三井三池各事業所写真帖」より



大宮昇版画集「炭山譜画」表紙



萩原義弘撮影「採炭救國坑夫像」（夕張）

●本企画展関連イベント

【ボレボレ東中野】炭鉱映画特集上映（仮）：8月3日(土)～9日(金)

上映予定作品：「地の底の精霊歌」今野勉／

「女ひとり大地を行く」龜井文夫／「泣き濡れた春の女よ」清水宏

【space&cafeボレボレ坐】本橋成一・萩原義弘「炭鉱デビュー」写真展

会期：7月30日(火)～8月10日(土・予定) 月曜定休・入場無料

〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-1 ボレボレ坐ビル1F

【お問い合わせ先】03-3227-1405（ボレボレタイムズ社）

